

企画：伊藤方文
制作：記録映画「コミュニティ・ケアへの道」
製作委員会
構成監督：柳澤寿男 撮影：塩瀬申幸
題字：沙羅千晴 スチール：小林 茂
録音：小林 賢 解説：伊藤惣一
タイトル：菁映社 作詞：森永都子
作曲：冬木 透
演奏：くにたちカンマーコール合唱団
指揮：岡本 仁
協力：知多市手をつなぐ親の会
記録映画製作委員会知多地域推進協力会
社会福祉法人 あさみどりの会
1982年 16ミリ
カラー 113分

愛知県知多市の療育グループの記録。障害者にとってのコミュニティ・ケア=地域福祉とは何かを考える。



そっちやない、こっちや
「コミュニティ・ケアへの道」

柳澤壽男福祉ドキュメンタリー映画祭 第1回

そっちやない、こっちや

～コ ミュ ニ テ イ ・ ケ ア へ の 道～

日時●2020(令和2)年8月30日(日) 2回上映
①10時30分～12時40分 ②13時30分～15時40分
入場料●300円（当日のみ。資料代含む）
会場●藍住町総合文化ホール 大ホール
〒771-1203 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1
☎088・637・3344

主催●徳島で柳澤壽男監督作品を見る会
(代表=N P O 法人太陽と緑の会 ☎088・642・1054)
共催●藍住町芸術文化鑑賞事業実行委員会



●柳澤壽男監督（1916～1999、享年83）は、近年高く再評価されているドキュメンタリー映画の巨匠です。小川伸介、土本典昭、黒木和雄などの優れた監督が尊敬したことでも知られます●特に福祉ドキュメンタリー5部作は、障がい者問題を静かに見つめ、色あせない問題提起を我々に投げかけてくる力強い作品で、東京や神戸などで上映会が行われています●映画史的には2018年に新宿書房から分厚い資料集『そっちやない、こっちや 映画監督・柳澤壽男の世界』が刊行されたことで、その作品評価はゆるぎないものになりました●この企画は、監督の弟子筋にあたる太陽と緑の会・杉浦良が、天国の師匠に捧げる渾身企画です●徳島で5年間かけて柳澤寿福祉ドキュメンタリー5部作を藍住町総合文化ホールで上映しようというものです。多数ご参集ください。

ホパイイエ

矢吹キチをつなぐ風の会
音楽グループ・映画グループ



柳澤寿男監督略歴

群馬県出身。戦前松竹下鶴撮影所に入社。
戦争中、亀井文雄監督の「小林一茶」を見て記録映画を志し、
日本映画社に転社。戦後監督に昇進。
日本映画社解散とともにフリーとなり岩波映画社、
日経映画社などで監督作品を発表
「富士山頂観測所」(朝日文化賞)
「海に生きる」(文部大臣賞)
「私達の新聞」(新聞協会賞)
「新風土記北陸」(農林大臣賞)
「野を越え山を越え」
「室町美術」
「新東京火力発電所」
「何処かで春が」
「読むべえ、書くべえ、話すべえ、」
「ロダン」
1968年以降今日まですべての人々が自由で生き生きと
生きていく為にはいかにあるべきかを主題に障害者の
記録映画に取り組み、自主制作、自主上映を続けている。
「夜明け前の子供たち」
「ぼくのなかの夜と朝」(全国社会福祉協議会推薦)
「甘える事は許されない」
「そっちやない、こっちや」(山路ふみ子文化財団福祉映画賞)
「風とゆききし」(日本映画ベンクラブ推薦優秀作品)

